

(様式-1)

栃木県公共事業事前評価・自己評価書 [県土整備部 道路事業]

1/2

事業概要調書											
1 事業名	道路事業										
2 事業箇所	一般県道 <small>おやましもつけ</small> 小山下野線 <small>おやましきざわ</small> 小山市喜沢工区										
3 事業の概要	(1) 事業目的 <p>一般県道小山下野線は、<small>えきみなみちよう</small>小山市駅南町を起点とし、<small>しもつけしぎおん</small>下野市祇園に至る延長約12kmの幹線道路であり、小山市と下野市を南北に結ぶ地域の通勤通学等の日常生活を支える主要な道路である。</p> <p>しかしながら、現道が狭隘で屈曲しているため、西側に並行する一般国道4号に交通が集中することから、国道4号が慢性的な渋滞が発生している。</p> <p>喜沢工区は延長1,000mの2車線道路であり、本工区の整備により、今年度供用予定の出井工区と併せ、小山市と下野市を結ぶ道路ネットワークの強化を図るものである。</p> <p>喜沢工区は以下を事業目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道4号の渋滞緩和 ・都市間の連携強化 ・自動車・歩行者自転車の交通安全確保 										
	(2) 事業内容 <p>【計画の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道は道路幅員が狭隘で屈曲しており、沿線に人家が多いことから、延長1,000mのバイパス道路を整備する。 <table border="1"> <tr> <td>全体延長 : 約1,000m</td> <td>現況交通量(H22年) : 8,900台/日</td> </tr> <tr> <td>道路幅員 : 15.0m</td> <td>参考(国道4号) : 17,635台/日</td> </tr> <tr> <td>車線数 : 2車線</td> <td>計画交通量(H42年) : 11,500台/日</td> </tr> <tr> <td>道路区分 : 3種2級</td> <td>設計速度 : 60km/h</td> </tr> <tr> <td></td> <td>構造物等 : -</td> </tr> </table>	全体延長 : 約1,000m	現況交通量(H22年) : 8,900台/日	道路幅員 : 15.0m	参考(国道4号) : 17,635台/日	車線数 : 2車線	計画交通量(H42年) : 11,500台/日	道路区分 : 3種2級	設計速度 : 60km/h		構造物等 : -
	全体延長 : 約1,000m	現況交通量(H22年) : 8,900台/日									
	道路幅員 : 15.0m	参考(国道4号) : 17,635台/日									
	車線数 : 2車線	計画交通量(H42年) : 11,500台/日									
道路区分 : 3種2級	設計速度 : 60km/h										
	構造物等 : -										
(3) 事業予定期間	<table border="1"> <thead> <tr> <th>期 間</th> <th>事 業 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年度～平成29年度</td> <td rowspan="2">用地調査、用地取得 工事実施</td> </tr> <tr> <td>平成30年度～平成32年度</td> </tr> </tbody> </table>	期 間	事 業 内 容	平成26年度～平成29年度	用地調査、用地取得 工事実施	平成30年度～平成32年度					
期 間	事 業 内 容										
平成26年度～平成29年度	用地調査、用地取得 工事実施										
平成30年度～平成32年度											
(4) 事業費及び内訳	<table border="1"> <tr> <td>事業費</td> <td>約15億円</td> </tr> <tr> <td>事業費内訳</td> <td> 工事費 : 約4.0億円 用地補償費 : 約10.0億円 測量設計費 : 約1.0億円 </td> </tr> <tr> <td>財源内訳</td> <td>国費 : 55%、県費 : 45%</td> </tr> </table>	事業費	約15億円	事業費内訳	工事費 : 約4.0億円 用地補償費 : 約10.0億円 測量設計費 : 約1.0億円	財源内訳	国費 : 55%、県費 : 45%				
事業費	約15億円										
事業費内訳	工事費 : 約4.0億円 用地補償費 : 約10.0億円 測量設計費 : 約1.0億円										
財源内訳	国費 : 55%、県費 : 45%										
(5) 事業発案の経緯・背景	<ul style="list-style-type: none"> ・本工区北側に接続する出井工区が平成25年度に完成供用予定 ・小山市からの早期整備要望 										
4 県計画への位置付け	栃木県の道路・交通分野の将来構想である「人にやさしい県土60分構想」に基づき、都市内における拠点を結ぶとともに地域の生活を支える安全で快適な道路づくりを目指す。										
5 他計画・他事業との関連	出井工区(道路事業) H17～H25										
所轄部課名	県土整備部 道路整備課										

別添図面・・・事業位置図

事業評価調書	
事業名	道路事業
1 事業の必要性	<p>本路線は、小山市の中心市街地と下野市の中心市街地の結び、地域の日常生活を支える重要な路線であるにもかかわらず、出井・喜沢地区の現状は、以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道は狭小で屈曲している 最小幅員 4.0m(8.0m) ※()内は道路構造令の設計速度60km/hの時の望ましい値 ・交通が国道4号に集中し、慢性的な交通渋滞が発生 羽川交差点(主要渋滞箇所) : 最大渋滞長 100m 小山遊園地入り口交差点(主要渋滞箇所) : 最大渋滞長 300m ・小山城北小学校及び桑中学校の通学路に指定
2 事業の適時性	<ul style="list-style-type: none"> ・本工区北側に接続する出井工区が平成25年度に完了することから、更なる整備効果を図るため、引き続き事業着手する必要がある。
3 事業の適地性	<ul style="list-style-type: none"> ・小山市と下野市を結ぶ幹線道路として「3・5・2小山国分寺線」が都市計画決定されており、この都市計画道路を県道小山下野線として整備していることから、この喜沢工区についても同様に、この都市計画道路を整備することが妥当。
4 事業手法の適切性(県が事業主体となる理由等)	<ul style="list-style-type: none"> ・一般県道小山下野線の道路管理者である県が事業を実施する。
5 事業により予想される効果及び影響	<ul style="list-style-type: none"> ○経済効果 (完成2車線) <ul style="list-style-type: none"> ・費用便益比(B/C) 3.6 ・総便益(B) 43.4億円 ※ 総便益は、供用後50年間の効果を金銭に換算したもので、走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少効果等の合計である。 ・費用(C) 12.1億円 ※ 費用は、建設費に供用後50年間の維持管理費を加算している。 ○国道4号の渋滞緩和 <ul style="list-style-type: none"> ・国道4号に集中していた交通が転換されることにより、慢性的な渋滞が緩和される。 (17,600台/日 → 15,400台/日 約13%減) ○都市間の連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ・小山市街地と下野市街地を結ぶ道路ネットワークを強化することにより、県南部の地域連携強化を図る。 (小山市街地と下野市街地間の所要時間が約2分短縮) ○自動車・歩行者自転車の交通安全確保 <ul style="list-style-type: none"> ・道路線形の改善が図られる。 ・幅員狭小及び屈曲区間の解消により走行性が向上する。また、歩道を整備することにより小山城北小学校・桑中学校の生徒児童等の歩行者自転車の交通の安全が確保できる。
6 事業コスト縮減等の可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・公共工事コスト縮減行動計画2010(平成22年7月栃木県)に基づき、設計・施工各段階においてコスト縮減を検討する。

